

## 株主メモ

事業年度 2月1日から翌年1月31日まで

定時株主総会 毎年4月

期末配当金受領株主  
確定日 1月31日

中間配当金受領株主  
確定日 7月31日

公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <https://www.imura.co.jp>  
(ただし、電子公告によることができない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に公告いたします。)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部

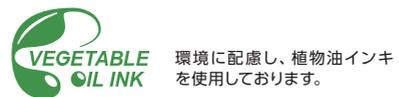
1単元の株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

### 株式に関する諸手続についてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しております。

 IMURA ENVELOPE CO.,INC.



第71期 報告書

2020年2月1日

2021年1月31日

71 Imura Report

INDEX	
株主の皆様へ	1
連結財務諸表	3
主要な経営指標の推移	5
IMURA コラム	6
トピックス	7
株式の状況・所有者別状況	9
会社の概要・役員・事業所	10

 株式会社 **イムラ封筒** 証券コード3955

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 井村 優

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第71期(2020年2月1日から2021年1月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を兼ね、事業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停滞等により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの事業領域に影響を及ぼす郵便及びメール便市場は、普通郵便物及びメール便の取扱数量は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前期比大きく減少しており、特に、ダイレクトメール市場がイベントの制限もあって需要が大きく落ち込むなど、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、「Give & Give & Give(全ての人に最高の付加価値を届け続ける)」をテーマに掲げ、お客様に満足いただけるソリューションサービス分野への取り組みを、全社を挙げて進めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、コロナ禍による日本経済の大幅な停滞に伴う需要の後退により212億37百万円(前期比9.3%減)となりました。損益面につきましては、前年度より進めてまいりました生産体制の合理化(人員配置の見直し、機械設備の最適配置等)による原価低減や不採算工場の閉鎖等による固定費の削減、コロナ禍への対応として変動労務費や販売管理費等の削減、並びに不採算案件の見直し等の収益を重視した各種販売施策の浸透により収益性が大きく改善されたことから、営業利益は8億73百万円(前期比29.4%増)、経常利益は10億56百万円(前期比39.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は6億60百万円(前期比31.6%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## パッケージソリューション事業

官需による一部下支えがあったものの、イベント告知等のDM用封筒の減少をはじめとして、コロナ禍による経済活動後退により、需要が大きく落ち込んだ結果、売上高は160億91百万円(前期比10.7%減)となりました。損益面では、上述の収益性の改善により、営業利益は6億26百万円(前期比55.4%増)となりました。

## メールサービス事業

新規取引先の拡大並びに既存取引先への深耕活動に加え、官需の取り込みもありましたが、需要低迷の影響が大きく、売上高は35億9百万円(前期比2.1%減)となりました。損益面では、内製化推進等による売上総利益率の改善が進み、営業利益は2億2百万円(前期比30.0%増)となりました。

## その他

情報システム事業は増収となったものの、子会社2社が需要低迷の影響で減収を余儀なくされ、売上高は16億36百万円(前期比9.5%減)となり、営業利益は33百万円(前期比69.8%減)となりました。

## 長期ビジョン及び中期経営計画について

当社グループは、これまで封筒を中心とするパッケージソリューション事業をコア事業として、封筒業界トップの地位を確固たるものとし、100年企業としての礎を築いてまいりました。しかしながら、ポストコロナにおいては、社会システムのデジタル化の進展により封筒市場の縮小が想定されることから、向こう10年間の事業環境の変化を踏まえた長期ビジョン「IMURA VISION 2030」を策定し、また、これを実現していくための道標として、2021年度を初年度とする3か年の中期経営計画「IMURA VISION 2030 Stage I」を策定いたしました。

## 1) 長期ビジョン「IMURA VISION 2030」

『当社グループは、次の100年を視野に入れ、「第二の創業」の実現に向け、社会やお客様が求める価値を創造するソリューション提供企業への転換にチャレンジする。』を当社グループの基本方針とし、以下の3項目をあるべき姿として掲げました。

- 1) プロモーションメディアにおいて、デジタルと紙の融合により、最高の付加価値を提供できる企業グループ
- 2) パッケージの紙化ソリューションの提供により、持続可能な社会の発展に貢献する企業グループ
- 3) 事業基盤の再構築により、多様な成長エンジンを有する企業グループ

## 2) 中期経営計画「IMURA VISION 2030 Stage I」

『変革とイノベーション(革新)により新たな成長軌道を実現し、企業価値の更なる向上を図ることで全てのステークホルダーに最高の付加価値を提供する。』を中期経営計画の基本方針とし、以下の6項目について重点的に取り組むことにより、新生イムラの基盤づくりを進めてまいります。

## ■ 変 革

- 1) デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、業務プロセス改革の実現による業務効率化、人員の最適配置、データの有効活用による営業戦略の高度化に取り組みます。
- 2) 「量」から「付加価値」への転換による収益力の強化、EC販売の強化、スマートファクトリーを意識した製造拠点の再構築、パッケージソリューション事業における圧倒的コストリーダーシップ戦略の実行等により、事業基盤の再構築に取り組みます。
- 3) 次世代を担うリーダーの育成、職務と成果に基づく人事評価制度の導入、個のパフォーマンスの向上と成長に資する働き方改革の推進に取り組みます。

## ■ イノベーション(革新)

- 4) バリューチェーンの拡大や通販系顧客層の拡充により、メールサービス事業の構造改革に取り組みます。
- 5) ロジスティクスサービス事業への進出や新規事業・事業領域拡大に向けた積極的投資により、新たな成長エンジンの創出に取り組みます。
- 6) 包装材等の拡販や脱プラスチック対応の新商品開発により、SDGsの推進に取り組みます。

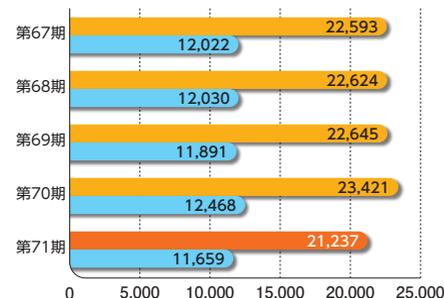
## 3) 数値目標

項目	2020年度実績	IMURA VISION 2030	
		2023年度目標 (Stage1)	2030年度目標
売上高	212.3億円	230億円	250億円以上
経常利益	10.5億円	20億円	30億円以上
自己資本利益率(ROE)	4.8%	8.0%	10.0%以上
C O <sub>2</sub> 排出量	6,600 t	20%削減	40%以上削減

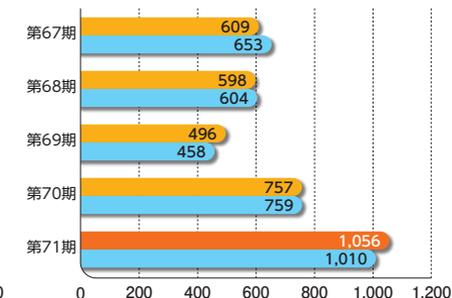
株主の皆様におかれましては、何卒、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年4月

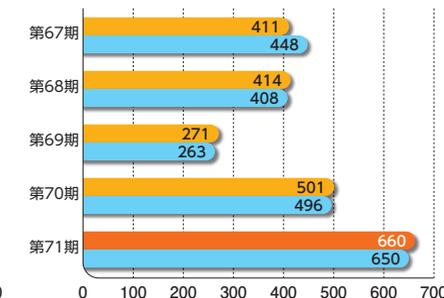
## ■ 売上高 (単位:百万円)



## ■ 経常利益 (単位:百万円)



## ■ 親会社株主に帰属する純利益 (単位:百万円)



## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前期末 (2020年1月31日現在)	当期末 (2021年1月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,304	8,616
現金及び預金	2,344	2,922
受取手形及び売掛金	3,627	3,387
電子記録債権	672	1,000
たな卸資産	1,320	1,198
その他	339	106
固定資産	9,705	10,058
有形固定資産	7,433	7,495
建物及び構築物	1,491	1,374
機械装置及び運搬具	1,919	2,093
土地	3,655	3,636
その他	367	389
無形固定資産	60	53
投資その他の資産	2,211	2,509
投資有価証券	1,071	1,206
その他	1,139	1,303
資産合計	18,009	18,674

## 資産の部

現金及び預金や投資有価証券等の増加により、資産合計は前期末に比べ6億64百万円増加し、186億74百万円となりました。

## 連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	前期末 (2020年1月31日現在)	当期末 (2021年1月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,036	4,065
支払手形及び買掛金	1,184	1,127
電子記録債務	1,205	1,078
その他	1,646	1,859
固定負債	381	536
負債合計	4,418	4,602
<b>純資産の部</b>		
株主資本	12,533	13,040
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,366	1,368
利益剰余金	10,292	10,801
自己株式	△ 324	△ 328
その他の包括利益累計額	1,007	980
その他有価証券評価差額金	317	273
退職給付に係る調整累計額	689	706
新株予約権	37	37
非支配株主持分	13	14
純資産合計	13,591	14,072
負債純資産合計	18,009	18,674

## 負債の部

固定負債等の増加により、負債合計は前期末に比べ1億84百万円増加し、46億2百万円となりました。

## 純資産の部

利益剰余金等の増加により、純資産合計は前期末に比べ4億80百万円増加し、140億72百万円となりました。  
なお、自己資本比率は前期末に比べて0.1ポイント低下し、75.1%となりました。

## 連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	前期 (2019年2月1日から 2020年1月31日まで)	当期 (2020年2月1日から 2021年1月31日まで)
売上高	23,421	21,237
売上原価	18,244	16,180
売上総利益	5,176	5,057
販売費及び一般管理費	4,501	4,184
営業利益	675	① 873
営業外収益	115	199
営業外費用	33	17
経常利益	757	1,056
特別利益	1	1
特別損失	33	② 87
税金等調整前当期純利益	725	970
法人税、住民税及び事業税	222	351
法人税等調整額	△ 0	△ 42
当期純利益	503	661
非支配株主に帰属する当期純利益	1	1
親会社株主に帰属する当期純利益	501	660

## ① 営業利益

収益を重視した各種販売施策の浸透及び製造部門における原価低減を進めた結果、営業利益は1億98百万円増加しました。

## ② 特別損失

山口美和工場閉鎖に伴う減損損失として、56百万円を特別損失に計上いたしました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	前期 (2019年2月1日から 2020年1月31日まで)	当期 (2020年2月1日から 2021年1月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	736	1,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 566	△ 877
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 357	△ 101
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 187	618
現金及び現金同等物の期首残高	2,386	2,199
現金及び現金同等物の期末残高	2,199	2,817

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の収入は15億97百万円となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前当期純利益9億70百万円、減価償却費6億9百万円、資金の減少要因として法人税等の支払額2億56百万円によるものです。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

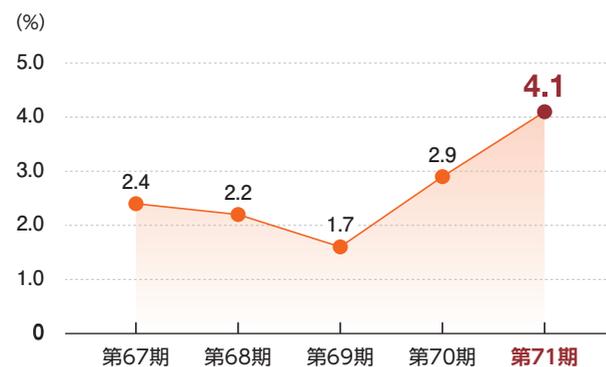
投資活動による資金の支出は8億77百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7億28百万円、投資有価証券の取得による支出2億1百万円によるものです。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

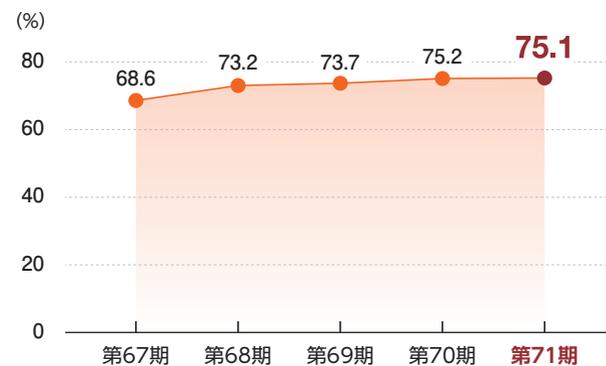
財務活動による資金の支出は1億1百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1億51百万円によるものです。

## 主要な経営指標の推移

## 売上高営業利益率



## 自己資本比率

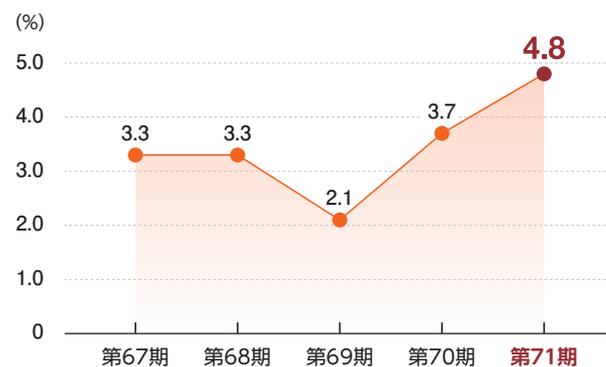
配当金  
について

利益配分は企業経営にとって最重要事項のひとつとして認識しております。配当に関しましては、業績動向・財務状況・将来のための投資に必要な内部留保などを総合的に勘案したうえで決定することを基本としております。当期の期末配当につきましては、上記方針に加え、純利益の進捗状況も勘案いたしました結果、次のとおりとさせていただきます。

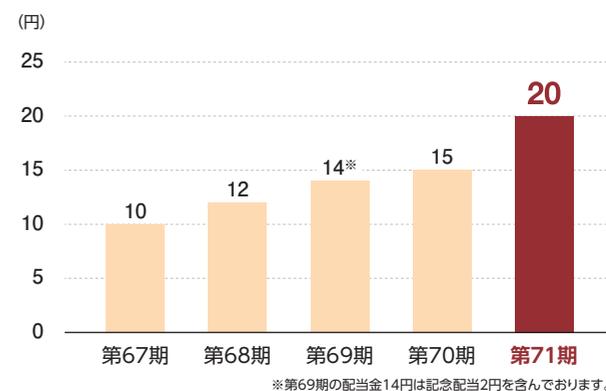
▶ 期末配当金 … 1株につき 20円

▶ 期末配当金支払開始日 … 2021年4月23日

## ROE(自己資本利益率)



## 1株当たり配当金



## IMURA コラム

## ニッポン

## 「近代郵便」始め

郵政博物館の收藏品から

## 第4回

警察官より半世紀も早く  
拳銃を携帯していた郵便遞送人。

創業当初は、江戸時代の飛脚のシステムをそのまま流用して始まった近代郵便制度。交通機関が整うまで、郵便物は飛脚と同じく人の足で運ばれており、野獣や強盗から身を守るために拳銃を携帯していたそうです。

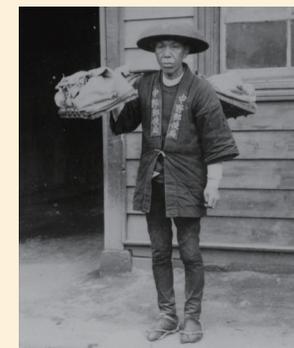
新しい郵便制度がスタートすると、まず東京・京都・大阪を結ぶ東海道の宿駅間で手紙が遞送されました。東京～大阪間に所要する時間は約78時間(3日と6時間)。江戸時代の飛脚が早飛脚で6日、通常でも8～9日以上かかることがあり、その速さは歴然としています。

しかも新しい郵便制度では、毎日天候に関係なく、東京は午後4時、大阪は午後2時に出発することが定められており、確実な点でも優れていました。

郵便物を運ぶ遞送人は、宿駅から宿駅へとリレー方式で運んでいましたが、その道中は現在のように整備された道路もなく、決して楽な道のりではありませんでした。特に、山中ではクマやイノシシなどの野獣に襲われたり、現金書留を狙っ



郵便物保護銃



郵便遞送人(中野局/明治20年代)

た強盗に郵便物が奪われたりする事件も発生。そこで郵便物を守るために、1873年に制定された「短銃取扱規則」第1条に「郵便物保護銃ハ郵便物ノ危害正当防禦ノ用ニ供スル為メ(略)郵便遞送集配人ヲシテ之ヲ携帯セシムルモノトス」と定められ、1873年から1945年まで危険な地域を通る遞送人には「郵便物保護銃」という6連発の拳銃の携帯が許されました。警察官が拳銃の携帯を許される1923年より50年も前のことです。

その後、鉄道の発達などによって、人の足による遞送は少なくなりますが、交通機関の整っていない地方へは昭和に入っても人の足によって郵便物が運ばれていたそうです。



シカゴ世界コロンブス博覧会(1893年)に出品された「郵便現業絵巻」から「第十圖 人車と脚力による郵便物の運送」

資料提供・監修  
郵政博物館

東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ9F  
TEL:03-6240-4311 <https://www.postalmuseum.jp/>

トピックス

## 当社のSDGsへの取り組み

2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」において「持続可能な開発目標(SDGs)」が決議され、2030年までに地球規模で解決すべき課題として17の目標と169のターゲットが示されました。当社でも企業行動憲章に基づき、これらの課題解決に向けて、できることから積極的に取り組んでいきます。なお、当社の取り組みについては、外務省のホームページ「JAPAN SDGs Action Platform」にも紹介されています。



### 重点活動テーマ(一部抜粋)

～ SDGs達成への貢献 2021年のあるべき姿～

再生紙を除く木材由来のパルプは、すべてを「適正に管理された木材」とし、間伐材を由来とするパルプの使用量を2017年度比3倍にする。(間伐材パルプ使用量 2017年度実績比)



イムラ封筒では間伐材パルプの使用量を増やすため、製紙会社や代理店の協力を得て主要原紙での間伐材パルプ利用を進めてまいりました。その結果、2020年までに原紙の銘柄数を2倍に増やし、原紙重量に占める間伐材パルプの利用率も順調に増加しています。2021年度にはさらに1銘柄で間伐材パルプの利用を開始する予定ですが、コロナ禍等の影響による封筒生産量の減少に伴い、原紙の使用量も低下していることから、間伐材パルプの重量としては2.5倍に留まる見込みです。なお、イムラ封筒では再生紙を除くすべての木材由来のパルプが「適正に管理された木材」であることを確認しております。



Paper Only 薄くて軽量の紙の緩衝材つき包装材。

# 「紙Net封筒」

プラスチックから紙へ。環境に優しく、クッション性も安心。



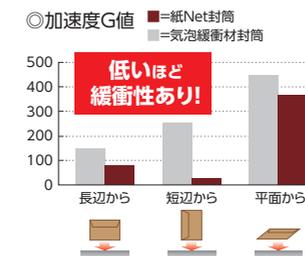
「紙Net封筒」は日本国における王子ホールディングス株式会社の登録商標です。

### すべて紙製へ。「脱プラ」で海洋保護。

物を入れて奥に押し込むと、中の封筒がメッシュ状に伸びていき、ハニカム構造となって緩衝材のようにクッションの形に変化します。中も外も紙素材でできているから、分別も不要。脱プラとしてアピールでき、海洋保護にも貢献できます。

### クッション性も安心!

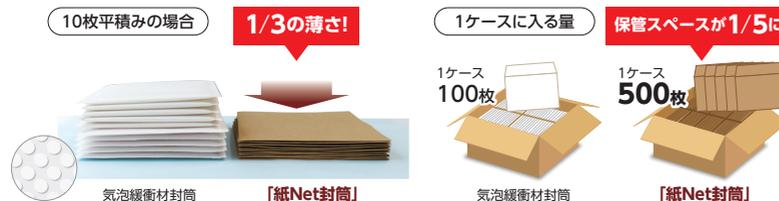
ハニカム状の紙ネットが気泡緩衝材より高い緩衝性能を発揮。



### 薄く、軽量だからコスト削減。

他に緩衝材が不要なため、コストの大きい宅配便で送る必要がなくなります。さらに、薄く軽量のため在庫管理のコストも削減できます!

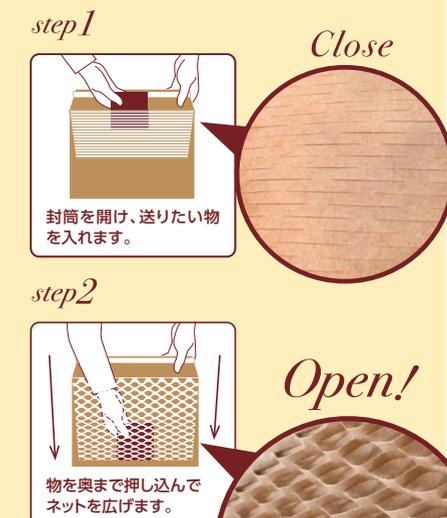
■気泡緩衝材封筒と比較すると…?



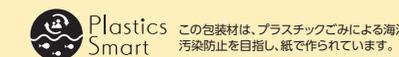
ポストインに最適なサイズ展開です!

タイプ	縦 (mm)	横 (mm)	1ケース枚数
B6	230	150	500
A5	195	250	500
A4	225	310	250

## 使い方は、カンタン2ステップ!



中に物を入れて押し込むと、中の封筒がメッシュ状に伸びていき、クッションの形に変化します。



## 株式の状況・所有者別状況

### 株式の状況 (2021年1月31日現在)

発行可能株式総数 **38,000,000株**

発行済株式の総数 (自己株式 605,875株を含む) **10,729,370株**

株主数 (前期末比23名増) **2,217名**

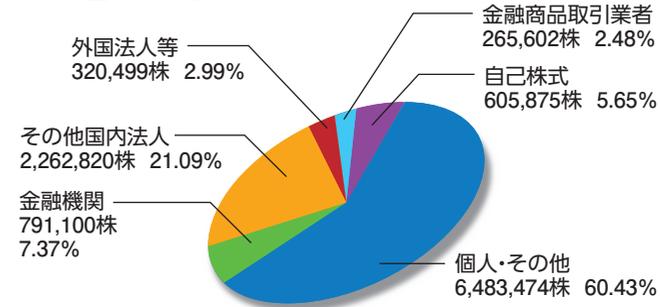
#### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
イムラ封筒社員持株会	721,452	7.12
井村 優	434,200	4.28
有限会社ケイ・アンド・アイコーポレーション	385,250	3.80
有限会社アイ・エム興産	358,750	3.54
井村 美和	318,000	3.14
井村 守宏	307,400	3.03
井村 達男	302,000	2.98
日本紙パルプ商事株式会社	300,000	2.96
井村 光一	297,200	2.93
井村 美保子	272,500	2.69

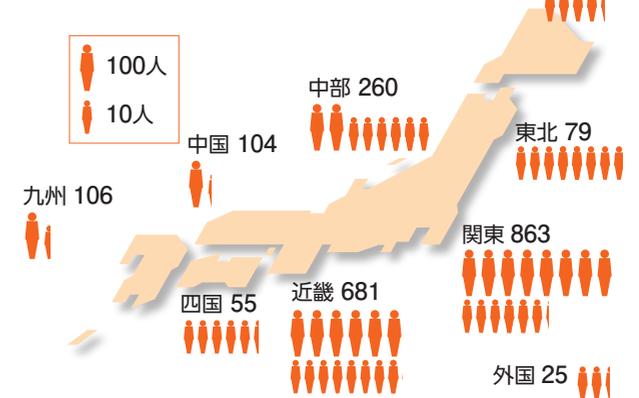
(注) 1. 当社は自己株式605,875株を保有していますが、上記大株主からは除いております。  
2. 持株比率は自己株式数(605,875株)を控除して算出しております。

### 所有者別状況 (2021年1月31日現在)

#### 所有者別分布表



#### 地域別分布表



## イムラだからできる、企業のトータルビジネスサポート。

独自の商品を生み出す封筒事業から、メールングサービス、ITシステム提案まで。イムラ封筒はビジネスコミュニケーションをトータルサポートします。

### メールングサービス事業

封筒の新しい価値をお客様に提案するサービスです。各種DMの企画から宛名印刷・封入・加工・発送、顧客リスト管理まで総合的なビジネスサポートを実現。お客様のコミュニケーション活動の効率化やコストダウンを強力に支援します。

### パッケージソリューション事業

数々の新品を提案する開発力と、ロットの大小に関わらず常に安定した品質を低コストで提供する生産力、お客様のニーズに迅速・的確に応える機動力を備えています。コミュニケーションの可能性を追求し続けるイムラ封筒のコア事業です。

### 情報システム事業

IT分野でも、イムラ封筒は社会に貢献しています。お客様のニーズやビジネススタイルに最適なシステムやソフトウェアを提供。お客様利益を常に最優先する姿勢はこの分野でも貫かれています。

### Total Business Support

## 会社の概要・役員・事業所

### 会社の概要 (2021年4月22日現在)

商号 株式会社イムラ封筒 (英文名:IMURA ENVELOPE CO.,INC.)

本店 〒542-0076 大阪市中央区難波五丁目1番60号 なんばスカイオ18階  
電話(06)6586-6121(代表)

創業 大正7年7月

設立 昭和25年2月

資本金 1,197,986,033円

- 事業内容
1. 封筒、袋などの紙製品、文具の製造、販売及び事務用品、日用雑貨品の販売
  2. 不織布、合成樹脂シートを素材とする封筒、袋類、建築・造園資材の製造、販売
  3. 印刷物などの物品の保管、封入、包装、梱包及び発送業務の代行
  4. 倉庫業
  5. 印刷、封入及び包装用機械の企画、研究開発、製造、販売及び輸出入
  6. ダイレクトメールの発送及び請求書の発行等に関する情報処理業務の受託
  7. 広告代理業務
  8. コンピュータ及び周辺機器、事務用機器の販売、教育指導及び保守管理
  9. コンピュータソフトウェアの企画、開発、制作、販売及び保守管理
  10. インターネットへの接続サービス業務
  11. 電気通信工事業
  12. 医療用事務機器及び資材の販売
  13. セミナーの企画、立案、制作、斡旋及び運営
  14. 前記各号に付帯する一切の業務

従業員数 連結 862名 単体 794名 (2021年1月31日現在)

子会社 東杏印刷株式会社 株式会社メトロテック

### 事業所 (2021年4月22日現在)

#### ■大阪

- 大阪本社  
西日本パッケージソリューション営業統括部  
▶西日本パッケージソリューション営業第一部 営業一課  
▶西日本パッケージソリューション営業第二部 営業一課  
▶情報システム事業部 営業課・DPS課  
メールングソリューション事業部  
▶メールングソリューション第一部 マーケティングソリューション二課

#### ■大阪

平野事業所 / ▶情報システム事業部 DPS課

#### ■福岡

▶西日本パッケージソリューション営業第二部 営業二課

#### ■愛知

- ▶西日本パッケージソリューション営業第一部 営業一課  
▶西日本パッケージソリューション営業第二部 営業一課  
▶情報システム事業部 営業課・DPS課  
メールングソリューション事業部  
▶メールングソリューション第一部 マーケティングソリューション二課

#### ■宮崎

御所工場

#### ■奈良

奈良新工場 / ▶情報システム事業部 開発課

#### ■神奈川

- 相模原工場 / ▶東日本パッケージソリューション営業第三部 営業一課

#### ■茨城

筑波工場

#### ■東京

- 昭島事業所 / ▶情報システム事業部 DPS課

#### ■北海道

▶東日本パッケージソリューション営業第一部 札幌営業グループ

#### ■東京

東京本社  
東日本パッケージソリューション営業統括部  
▶東日本パッケージソリューション営業第一部  
▶東日本パッケージソリューション営業第二部  
▶東日本パッケージソリューション営業第三部 営業二課  
メールングソリューション事業部  
▶メールングソリューション第一部 マーケティングソリューション一課  
▶メールングソリューション第一部 マーケティング&クリエイティブ課  
▶メールングソリューション第二部  
▶新規事業開発室  
▶情報システム事業部 DPS課

### 役員 (2021年4月22日現在)

取締役会長 井村 守宏

代表取締役社長 最高経営責任者(CEO) 井村 優

代表取締役副社長 最高執行責任者(COO) 瀧口 斉

取締役専務執行役員 吉川 伸昭

取締役常務執行役員 食野 直哉

社外取締役 白田 敬

社外取締役 城谷 満江

常勤社外監査役 知念 等

社外監査役 山田 拓幸

社外監査役 清水 健一

上席執行役員 炭家 裕之

上席執行役員 森田 旭

執行役員 下鳥 義明

執行役員 奥谷 勇二

執行役員 分領 雅之